

BEYOND MEASURE.

HORIBA Automotive

繰り返し性の高い台上でAD/ADAS認識性能評価を効率化

AD/ADAS機能の評価において、このような課題はありませんか？

- ✓ AD/ADAS機能の実路評価はいくら工数・予算があっても足りない…
- ✓ 実車によるAD/ADAS性能・機能評価に膨大な工数と時間がかかり、対応しきれない…
- ✓ 安全性評価など実車走行テストでは危険が伴い評価が難しい…

繰り返し性の高い台上演習システム



実走行環境を台上で再現、課題となるシーンのシステム評価・適合を可能にするAD/ADAS台上演習装置

- ✓ 多様な実環境・シナリオを再現可能
- ✓ 課題となるシーンを同一条件で繰り返し評価可能
- ✓ 実車走行試験では危険を伴う安全性評価が可能

AD/ADAS機能の安全を担保するには、リアルワールドで起きうる事象での検証が必要です。特に、認知技術のセンシングは雨、霧、逆光、影などの不特定な環境や、複雑な交通環境・道路環境での試験が求められます。

しかし、これらの環境は定量化されておらず、AD/ADAS開発において数十万キロ～百万キロの公道走行試験が実施されています。

HORIBAは、実走行環境を試験室内で再現するための、各種センサシミュレータによるバーチャル環境システムと車両走行ベンチを組み合わせた評価システムを構築することで、多様な環境・シナリオにおける繰り返し評価の効率化を実現します。

本件について、お問い合わせはこちらから：<https://horiba.link/K-Enquiry>



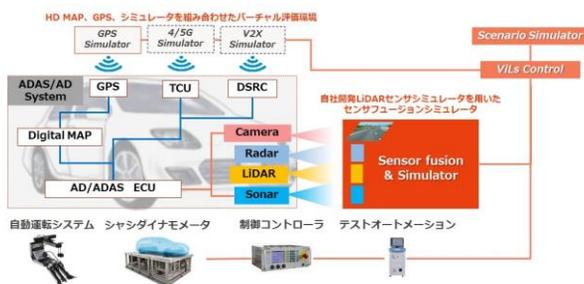
BEYOND MEASURE.

HORIBA

Automotive

バーチャル環境を活用し試験室内でAD/ADASを効率的に評価

各種センサ・通信シミュレータのフュージョンによる
バーチャルAD/ADAS評価システム



自社開発LIDARセンサシミュレータを用いた評価システム
Sensor fusion & Simulator の構成



実路走行データに基づき、高い精度で実環境を台上で再現し、
課題となるシーンの台上での評価を可能とします。

● 自社開発LiDARセンサシミュレータを用いた試験

LiDARセンサは自動運転に欠かせないセンサとして実用化が始まっていますが、そのシミュレータはまだ実用化されていません。HORIBAはいち早くその開発に着手し、LiDARシミュレータを開発、LiDARを含む台上総合環境システムを実現しました。

● HD MAP、GPS、シミュレータを組み合わせたバーチャル評価環境

HD MAPやV2Xの情報をシャシダイナモメータ上でシミュレーションし、協調システムの台上評価を実施します。（特許出願済）

● 法規制を先取り

AD/ADAS関連の法規制を先取りし、自動運転機能の認可に向けた今後の要求にお応えする試験ソリューションの提供を目指します。